

福島第一原発事故から10年、またも問題発生 —2021年2月13日の地震により原子炉格納容器の破損が拡大—

福島第一原子力発電所では、2月13日の「2021年の福島県沖地震」以降、問題が多発している。これについて、福島県では報じられているが全国的には知らない方が多いと思う。そのため記事を書かせていただいた。

2月13日23時08分、福島県沖を震源とするM7.3の地震が発生した(2021年の福島県沖地震)。福島県の国見町・相馬市・新地町、宮城県の蔵王町では震度6強を記録した。福島第一原発のある双葉町・大熊町でも震度6弱と報じられた。本稿では、地震の被害の記載は省き、福島第一原発の問題のみを書く(記載は2月24日)。

話は遡って、福島第一原発は、2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震で炉心溶融(メルトダウン)を起こし、現在、廃炉作業が進められている。「福島県の放射性物質による汚染の現状」は「そくほう2021年2月号」に掲載されたので、ご覧いただきたい。

このような状況の中、「2021年の福島県沖地震」が発生した。TEPCO(東京電力ホールディングス)のHP、2/14・15日の記事には、福島第一・第二原発では「微細な水の漏洩はあるが、全体的には異常なし」とある。HPの記載内容を要約すると「地震加速度(6号機)水平235.1Gal 垂直116.5Gal。1号機使用済燃料プールからの溢水・漏洩を確認(約160ml)。2号機原子炉建屋5階ダクトチェンバーから水の漏洩を確認(約90ml)。サイトバンカ建屋プールからの水の漏洩を確認(約1.4ℓ)。上記以外の設備に異常は無い」

しかし、その後、問題が報じられている。以下に簡素化して書く。

- 2/19 福島民報新聞「福島第一原発の処理水タンクの約20基に位置ずれが見つかったが損傷や水漏れは無い」
- 2/19・20時46分、NHK福島netnews「東京電力発表。1号機と3号機で格納容器内部の水位が低下。2011年の原発事故で壊れた格納容器の破損箇所が、13日の地震で広がり、漏水の量が増えた可能性がある。1号機では15日から、3号機では17日から、水位の低下傾向が続いている」これは民放でも全国に放送された(YouTubeで視聴可)。
- 2/20・4時49分、NHK全国netnews「原子力規制庁発表。原子炉の温度に大きな変動はなく、溶け落ちた

核燃料の冷却も現状、影響はない」

- 2/22・12時19分、NHK福島netnews「東京電力発表。1号機で格納容器の圧力が低下。格納容器には、水素爆発防止のため窒素を注入している。その注入窒素の圧力が、21日18時ごろ、通常の1.2kPaから0.9kPa(パスカル)まで低下したのが確認された。原因は、原発事故による損傷部分が、水位の低下で露出し、そこから気体が漏れ、圧力が低下した可能性がある。格納容器への注水は継続していて、安全上の問題は無い」
- 2/22・18時11分、NHK全国netnews「東京電力発表。3号機に設置した地震計が故障し、修理せずに放置したため、2月13日の地震データの記録ができなかった」
- 2/23・5時05分、NHK全国netnews「東京電力発表。格納容器の水位の低下傾向が続いている。また、1号機格納容器では注入窒素の圧力が1.2kPaから0.1kPaまで低下している」
- ★ 2/22・19時09分、NHK全国netnews「福島県漁連発表。22日に新地町(相馬市の北)の沖合8.8km水深24mで採れたクロソイから500Bq/kgの放射能が検出された」。また、「福島県水産海洋研究センター発表。福島第一原発の港湾内からクロソイが外洋に出た可能性がある。2019年、港湾内のクロソイから900Bq/kgが検出されていた」

大問題は、東京電力の原発事故に対する姿勢である。他人事のような発表である。

また、問題の一つは「原子炉格納容器の破損の拡大」である。メルトダウンした核燃料は、水で冷却しないと再溶融(メルト)して重大な問題を引き起こす。格納容器の亀裂が拡大した場合、冷却水を更に大量注入しなければならない(冷却水は汚染水となる)。現時点でも、汚染水の処理が大きな問題となっている。今後、更に亀裂が広がれば、溶け落ちた核燃料の冷却自体が出来なくなる可能性を秘めている。極めて重大な問題である。

もう一つは、外洋で放射能500Bq/kgの魚が見つかったことである。原発周辺では、未だに海洋汚染が続いている証拠である。風評ではなく事実である。

(福島支部 千葉茂樹)

— そくほう No.775 —

2021年4月1日発行 (毎月1回1日発行)

編集 地学団体研究会全国運営委員会事務局

発行 地学団体研究会

印刷 株式会社アイネクスト

TEL 029-836-5765 FAX 029-836-5766

〒171-0022 東京都豊島区南池袋2-24-1 八大ビル301号

TEL 03-3983-3378 FAX 03-3983-7525

E-mail chidanken@tokyo.email.ne.jp

https://www.chidanken.jp

郵便振替 00160-2-144318 地学団体研究会